

Bグループ 話題提供

高校生・大学生等の人材育成



朝来市 市長公室 総合政策課

ASAGOiNGな人を育むための 高校生・大学生等へのアプローチ

Bグループ 高校生・大学生等 の人材育成 **ASAGOING** 主体性 多様性 自己肯定感、シビックプライド

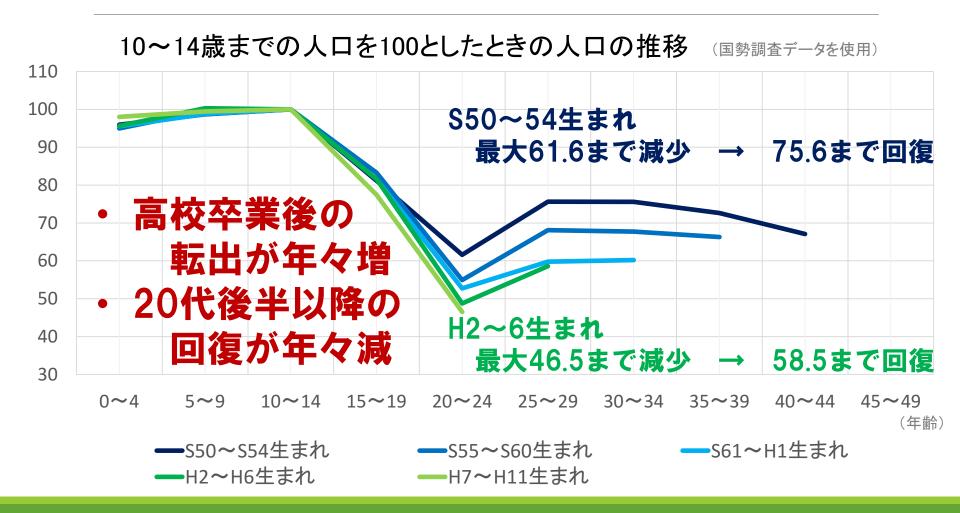
ASAGOINGな人、ASAGOINGなまち 大人 大学牛等 高校生 中学生 小学生 就学前 学びを 地域と 得意分野を 地域に 地域を 地域に 地域に 触れる 知る 関わる 参画する 地域に活かす 活かす 起業人財 地域に関わる 地域としながり主体性を育む 土台づくり きかけづくり 育成

Bグループの話題提供の流れ

- 1.朝来市の人の流れってどうなってるの?
 - ・現状・要因などについて
- 2.現在の取組み紹介
 - •アプローチの考え方
 - 具体的な取り組みの紹介
- 3.今まで取組みをしてきて分かったこと
- 4.本日のワールドカフェで対話内容



朝来市の人口動態の現状(高校卒業後の転出とその後の転入の状況)





20代後半から30代前半にかけてのUターン増につながらない理由!?

- 1.シビックプライドの醸成不足。
- 2.ひと・まち・企業・生き方の魅力が伝わっていない。 高校生・大学生等にとっては知る機会がない。

朝来市が好きだと	社会人になっても朝来市に
回答した中学生の割合	住み続けたいと思う中学生の割合
87.0% (横ばい傾向)	45.5% (下降傾向)

(中学3年生を対象にしたアンケート結果より)

※ まちへの愛着や誇りは醸成されていても、 まちの一員である自負心まで醸成されていていないのでは!?





普段の暮らしのなかで 多様な大人たちと出会う機会を!



高校生が、地域の多様な魅力的な大人たちと出会い、ひと・まち・企業・生き方などの魅力を知り、「ワクワク」や「興味関心」から「自分もその一員になりたい!」「〇〇に挑戦したい!」いう**主体的**な気持ち育み、高校生の一歩を応援していく場を作っていく。

朝来市内の高校と連携した取組み①【地域で活躍する大人とつながり主体性を育む取組み】

キャリアトークカフェ多様な大人の考え方や仕事に触れる対話の場。





朝来市内の高校と連携した取組み②【地域で活躍する大人とつながり主体性を育む取組み】

ASAGOINGゼミU-18 しごとゼミ
 職場を訪問し、企業や仕事の魅力に触れる。





朝来市内の高校と連携した取組み③【地域で活躍する大人とつながり主体性を育む取組み】

- 地域とつながり主体性を育む授業
 - ・学校での学び(知識)と社会(活用)をつなげる学び。
 - 高校に地域コーディネーターを配置し、

地域と学校をつなげる。

- ●和田山高校はキャリア教育 まちづくり研究、ものづくり研究、 ロジカルコミュニケーションなど。
- ●生野高校はグローバル教育 地域の興味関心から地域探究学習。 (1~3年生までのプログラム)



日常でつながる場づくり(2地域で試行的開設) 【地域で活躍する大人とつながり主体性を育む取組み】

学びのサードプレイス 誰もが自分らしくいられる場主体性を育む場。





日常でつながる場づくり(2地域で試行的開設) 【地域で活躍する大人とつながり主体性を育む取組み】

コーディネーターを配置し、 中高生と地域の大人をつなげる。





【大切なポイント】

- 多様な人が集えるオープンな場
- 自分らしくいられ、安心できる場
- ◆ やりたいことがチャレンジできる場

大学生等



主体性を育むインターンシップ 【企業等とつながり、魅力を感じ、主体性を育む取組み】

• 市役所インターンシップ

- インターンシップでの活動を通して、 地域や地域で活躍する人と触れ、 魅力を感じる。
- ・今までの大学等での学びを活かし、 自分たちで考えて動く力を身につける。
- ・主体的な仕事の楽しさ学ぶ。





主体性を育むインターンシップ 【企業等とつながり、魅力を感じ、主体性を育む取組み】

企業への インターンシップ

インターンシップを通して、 企業、まちの魅力を感じながら、 「しごと」「朝来市での暮らし」を 考える機会づくり。



- ・企業やまちの魅力を知る
 - ・新卒者の就職支援や雇用マッチングの取組みと連携 (第3回あさご未来会議「しごと」)

高校生・大学生等が出ていく社会は!?

AI(人工知能)などにより今後 10~20年の間に約47%の仕事 が自動化される

By オックスフォード大学准教授

- ✓ 人口減少
- ✓ 科学技術の発展
- ✓ グローバル化の進展
- ✓ 変化の激しい予測不可能な社会





高校生・大学生等にとっても必要な力!

- ✓ 様々な変化に対応する力に!
- ✓ 自分の未来を自分で 切り拓いていく力に!

『最も強い者が生き残るのではなく、 最も賢い者が生き延びるでもない。 唯一生き残るのは、変化できる者である』

By ダーウィン (イギリス自然科学者)





今までの取組みから (1)



↑ 人と人とのつながりから始まる

- •人の主体的なアクションの原動力は、
 - 「ワクワク」「興味関心」、
 - 自ら、「気づき」「感じる」「想う」
 - 主語に、「自分」が入っている。
- そのきっかけの一つは、「人と人とのつながり」
 - コミュニケーションから。
 - (朝来市では、多様なコミュニケーションが生まれる場づくり)



今までの取組みから





対話

- 思考を深めたり、広げたりする
- •可能性が広がる。
- ・理解の深化からオモシロさを感じ、 そしてアクションへ。

「主体性」 「多様性」

経験

- •経験から得る自信。
- 経験学習サイクルが主体性を育み 次のアクションや次の学びを育む。

「自己肯定感」 「主体性」 「シビックプライド」

今までの取組みから ③



- 「教えよう」としても身につかない。 主体性が、「学び」につながり、自らの力につながる。 L自分たちで考え、自分たちで決めて、行動する。
- 「教える」関係ではなく、一緒に「学び合う」関係。 まさしく「生涯学習」の場。

本日の対話 [ワールドカフェ]の 内容について

<目指したい姿>

高校生・大学生等が 今や、大人になったとき ASAGOINGな人として活躍



<現状>

朝来市で活躍する(楽しさ・やりがい)分イメージが分からない。

【要因】

- ①シビックプライドの醸成不足。(まちの一員である楽しさの実感不足)
- ②まちで活躍する人・企業などの魅力が伝わっていない。



人と人とのつながりから、 新たな動きが生まれ、 新しい価値を創出するとともに、 市民一人ひとりの未来と、まちの未来が、 育まれていく。

高校生も大学生等もその一人!

